

# 取組状況のフォローアップ

(渚滑川ほか)

## ■ 迅速かつ確実な水防活動のための取組

⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

・防災ハンドブックの更新



・重要水防箇所の共同点検を実施



## ■ 効率的・効果的な排水活動のための取組

・災害対策用機械の操作訓練を実施 ⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する



## ■水防活動体制の強化

- ・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の補助者となる水防団員（消防団員）の募集を行った。



⇒R5年度以降も引き続き、継続実施する

## ■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・洪水氾濫を未然に防ぐ対策

○ウツツ川 伐採工事



⇒R5年度以降も引き続き  
実施する

## ■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 北海道警察北見方面本部と共同で、警察官を対象とした教養セミナーを実施しました



紋別署 教養セミナー

⇒R5年度以降も引き続き、継続実施します

## ■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・ 計画的に各種訓練等を実施して練度の維持・向上を図るとともに、定期的に非常呼集訓練を実施して即動態勢を点検



災害用ドローンを使用した訓練



訓練における救命具の準備



災害等に対する即動態勢を保持

引き続き **計画的に訓練を実施**するとともに、**即動態勢を保持**

## ■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・ 各結節を捉えた各種器材の整備（機能点検）・取扱い教育を実施して災害等の事態に万全を期すとともに、気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育



人命救助システム（車両積載時）



人命救助システム内容品（抜粋）



取扱要領を各隊員に教育

引き続き **各結節において整備（機能点検）**・**取扱い教育を実施**するとともに、**気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育**

## ■迅速かつ確実な避難行動のための取組

### ○ 北見方面本部

#### 災害用ドローン操縦訓練



積み土のう訓練

### ○ 北見方面本部、紋別警察署

#### 網走地方気象台と連携した教養セミナーの開催



北見方面本部



紋別警察署

### ○ 紋別警察署



ミニ広報紙や各種講話を通じて防災意識を啓発



#### (その他)

- ・ 常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した。(北見方面本部)
- ・ 大雨、河川の水位、天候の見通し等について、関係機関と情報共有を図った。(北見方面本部、紋別警察署)

⇒R5年度以降も引き続き、継続して実施する

## ■大項目：迅速かつ確実な避難行動のための取組

○中項目：洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

- ・想定最大規模降雨の見積に基づき作成した、防災ハンドブックの全戸配布による市民への周知
- ・災対法の改正に基づき、市内の要配慮者、特に災害警戒区域内居住の対象者に係る個別避難計画の検討

○中項目：避難情報・警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ・確実な情報伝達手段の検討

現在の登録制メール(メール・FAX・TEL連動)のJアラート接続をLINEに同調させることを検討

- ・避難行動要支援者避難支援プランの再検討

要配慮者に対し、確実に情報が伝達できるよう、避難行動要支援者名簿に基づき、実行可能な連絡手段及び支援者等の確認を逐次に実施

○中項目：水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

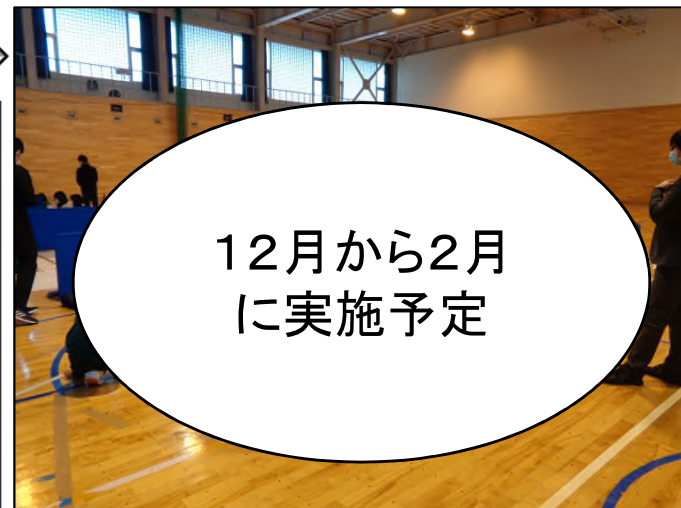
- ・小・中学生に対し、防災(地震・津波・浸水害等)に係る普及を実施



小学校及び地域  
住民に対する  
出前講座  
(段ボールベッド  
の作成体験)



中学生に対する  
出前講座  
(Doはぐ(避難所  
運営ゲーム)を活  
用した、避難所運  
営に係る知識の  
普及)



12月から2月  
に実施予定



## ■大項目：迅速かつ確実な避難行動のための取組

### ○中項目：水防活動に必要な情報の共有

・網走開発建設部管内1級河川水防連絡協議会、湧別川・渚滑川地方部会の合同巡視に参加し、網走開発建設部職員及び紋別市消防署員と合同で、渚滑川、渚滑橋左岸等の流下能力確保掘削工事箇所及び水防資機材を現地で確認し、認識の共有を図った。

流下能力確保掘削工事に係る確認状況



水防倉庫・水部資機材の確認状況



## ■迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・町内会を中心とした自主防災組織整備の促進
- ・情報伝達の多重化を図り、一斉配信システムの機能を拡大(町公式LINEの本格活用)
- ・関係機関と連携して一日防災学校、防災授業、防災ワークショップ等を実施
- ・紋別地区消防組合滝上消防支署と連携を図り、タイムライン作成を検討



一日防災学校の様子  
(滝上中学校)  
※消防、警察、社協と連携



一日防災学校の様子  
(濁川小学校)  
※社協、道立青少年体験活動  
支援施設ネイパル北見と連携



防災授業の様子  
(滝上小学校)  
※社協と連携



防災ワークショップの様子  
※まちづくり推進課と連携

## ■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・水害リスクの高い箇所(河川)について、町職員と消防職員が合同で巡視

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○洪水に対してリスクの高い箇所と避難場所・避難経路の把握

- ◇円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築
  - ・共有を図った

○避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ◇メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク（自主防災組織等）の構築
  - ・紋別市の防災訓練が中止となったが、サイレン吹鳴等の手順を再確認した
  - ・滝上町と連携した取り組みを実施した

- ◇氾濫発生前に避難行動を促すための情報伝達訓練を実施し、訓練を通じて避難指示等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成（要配慮者も考慮）

- ・他機関主催の研修会に参加した
- ・滝上町と連携を図り、必要に応じタイムライン作成に参画した

○水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ◇町内会等による住民参加型避難訓練、水防災に関する講習会、ワークショップ、小中学生への防災教育、渚滑川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
  - ・水防活動の補助者となる消防団員への防災教育をおこなった

 迅速かつ確実な避難行動のための取組は今後も継続予定

○水防活動の資機材整備

- ◇上流への資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備
  - ・紋別消防団員用にR2年にライフジャケット95着、トランシーバー86台を貸与し、R3年に発電機・投光器を購入し、消防団庁舎に配備した
  - R4年は整備事業を終えているため、資機材の使用確認を行った。
- ・滝上消防団員用に水防活動用胴付き長靴を5着購入した
- 次年度以降も継続して購入する予定

## ○水防活動に必要な情報の共有

◇迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う

- ・ 関係機関と資機材等を点検・確認し、保有情報を共有した

◇毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防関係機関や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う

- ・ 関係機関と共同点検に参加した
- ・ 水害リスクの高い箇所（河川）について、町職員と巡視を実施した

## ○水防活動体制の強化

◇関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施

- ・ 滝上支署職員について、水難救助訓練を実施した

◇リーフレットやHPを通じ、水防活動の補助者となる消防団員の募集を行うとともに水防協力団体の募集・指定を促進する

- ・ HPやイベントでの消防団員を募集した
- ・ 協力事業所の指定を行った

⇒ 迅速かつ確実な水防活動のための取組は今後も継続予定

## ■効率的・効果的な排水活動のための取組

### ○排水活動の体制強化

◇既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成

- ・ 排水資機材の整備はしなかった

◇排水ポンプ車等による関係機関同士での排水訓練の実施

- ・ 排水訓練等が開催されなかったため、訓練の参加ができなかった

⇒ 訓練参加については、次年度以降は参加する予定